

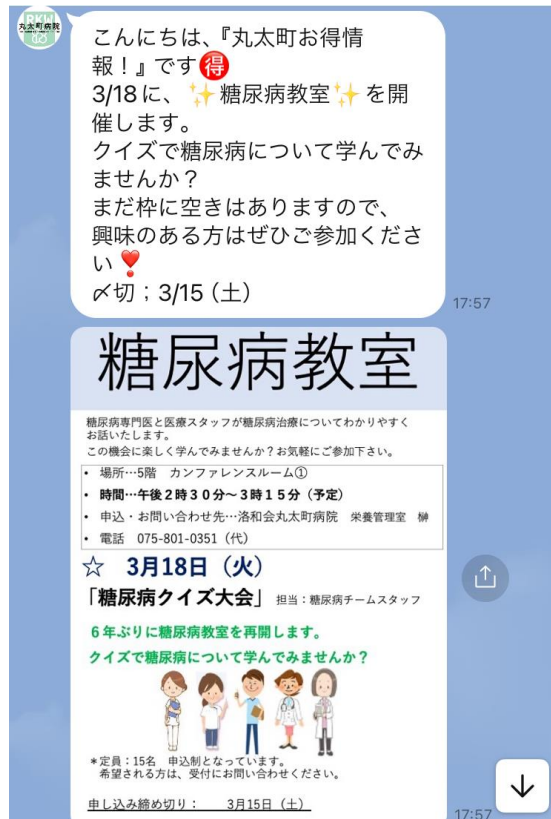
洛和会丸太町病院におけるLINEを活用した 医療安全活動

洛和会丸太町病院 TQM委員会

起塚 美沙、加藤 浩一郎、岡本 直樹、小林 亜矢、榊 容子

背景

洛和会丸太町病院では、TQM委員会が病院をより多くの方に知っていただき、情報を届けたいという目的でスマホアプリのLINE公式アカウントを開設した。その結果、お友達登録数が増加し、「知らなかった病院の良さや有益な情報を得ることができた」という声が寄せられている。



糖尿病教室



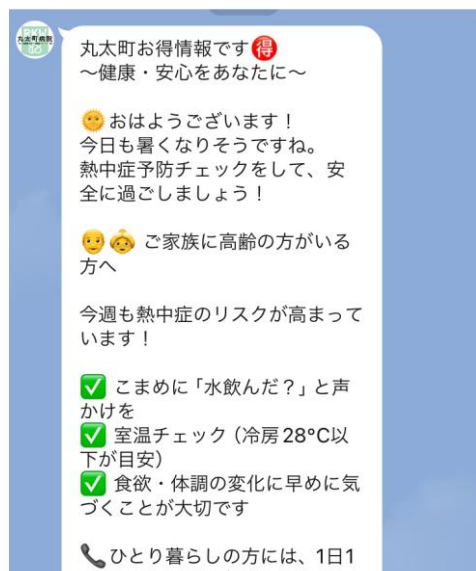
新築移転10周年記念ページ



地域連携ニュース

目的・方法

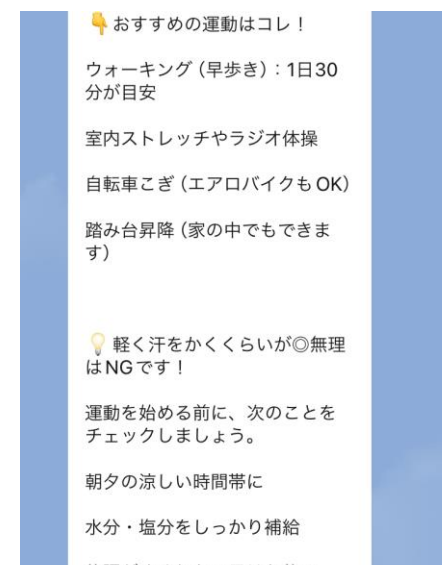
本年度は「医療安全」をテーマに、患者やご家族が日常生活でリスクを回避できるよう支援する取り組みを行った。公式LINEでは、月ごとに安全意識向上を目的とした内容を配信し、2025年5月～9月には、熱中症対策に関する情報を発信した。



セルフチェックシート



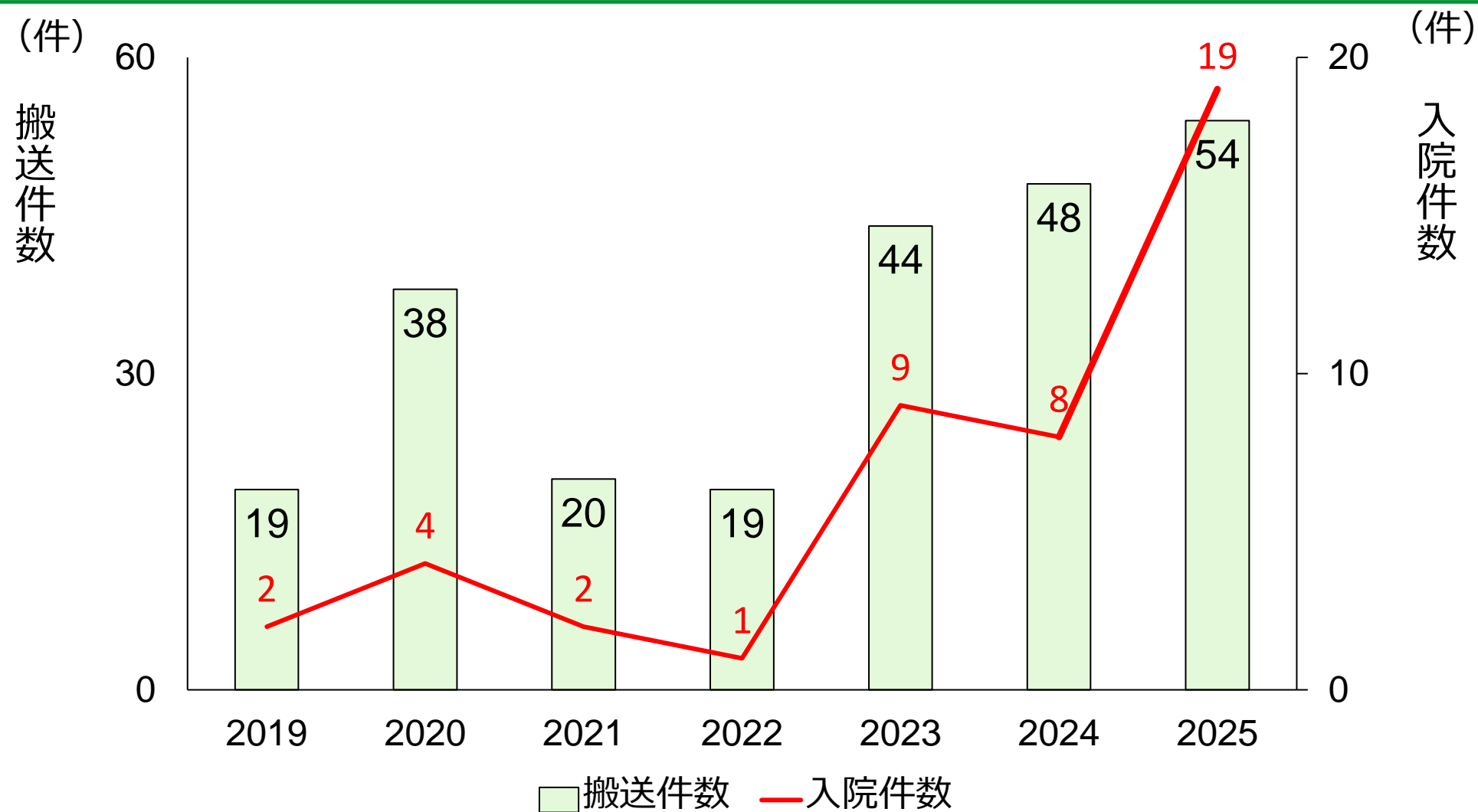
熱中症対策レシピ



熱中症対策運動

取り組みの効果を評価するため、
①熱中症による搬送・入院件数の推移、②LINEアンケートによる情報の有用性について調査を行う。

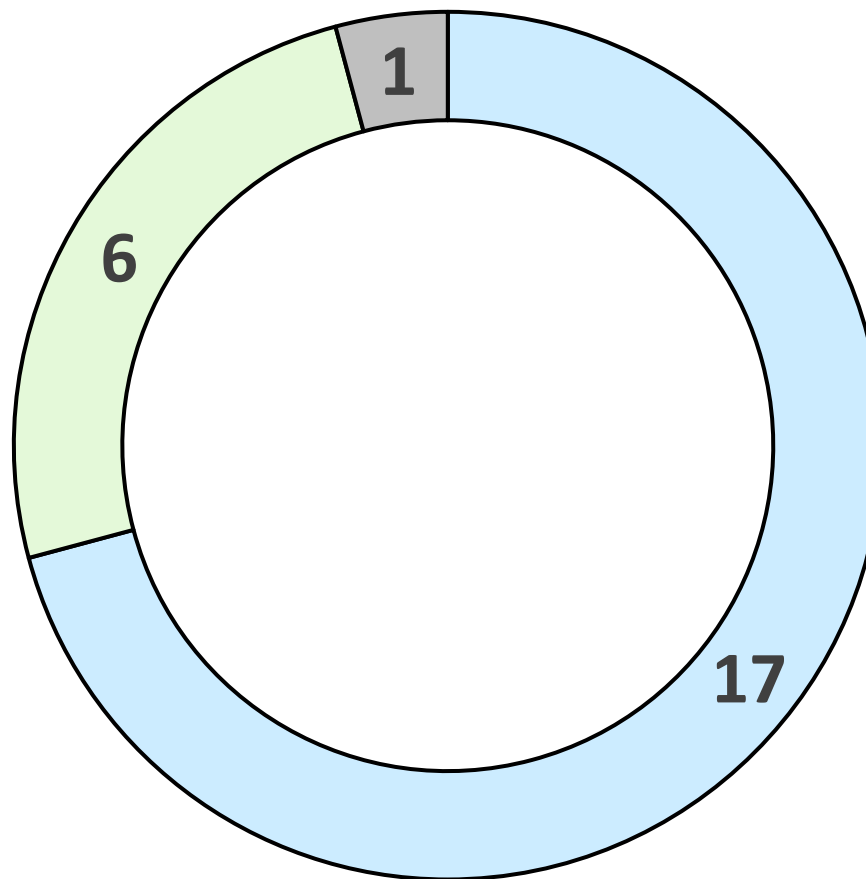
① 熱中症による搬送・入院件数の推移



② 熱中症対策に関するアンケート結果

この夏、熱中症対策についての意識は高まりましたか？

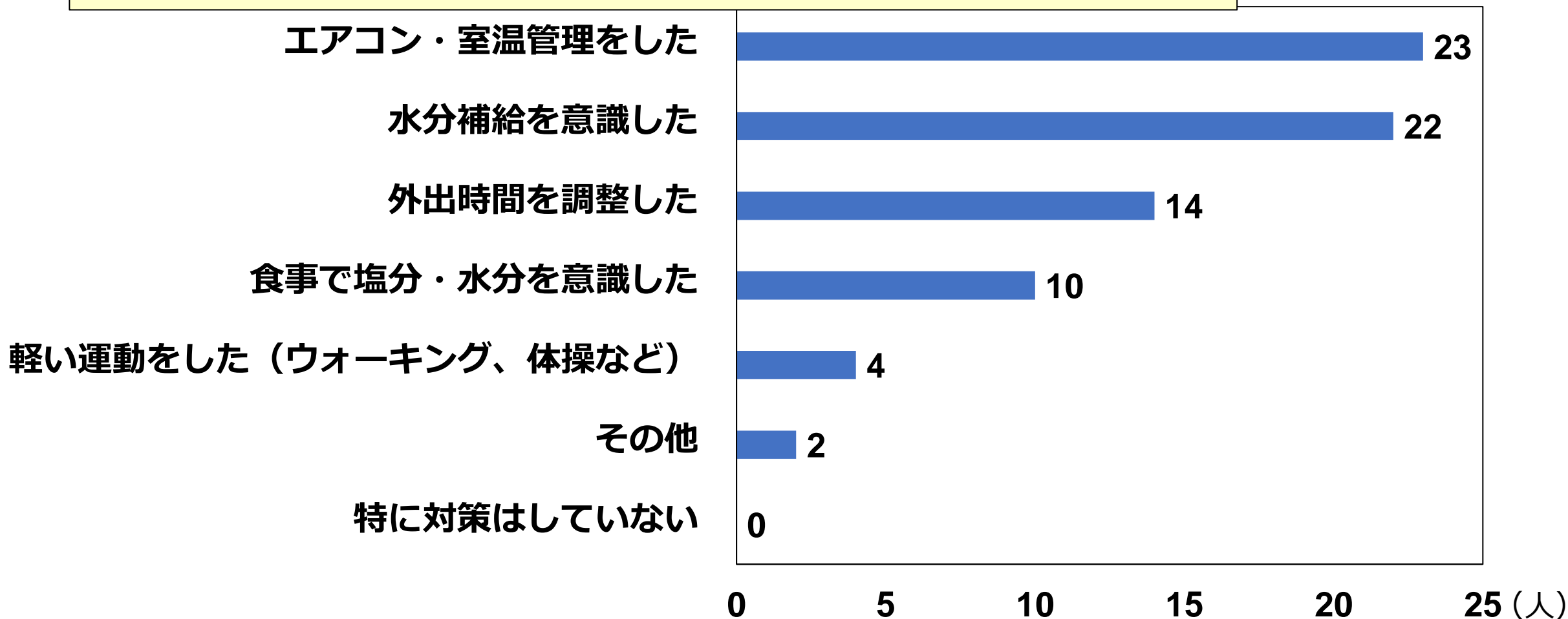
- とても高まった
- 少し高まった
- あまり変わらなかった



9/10時点
回答者数24人

② 熱中症対策に関するアンケート結果

実際に行った熱中症対策を教えてください（複数選択可）。



② 熱中症対策に関するアンケート結果

医療安全に関する対策・提案をお聞かせください（自由記述）。

カテゴリー	内容
医療相談体制 信頼できる相談窓口の必要性	病院受診には心理的なハードルがあるため、ちょっとした不安や薬について、インターネットやAIではなく、顔が見える専門家（かかりつけ医のような存在）に気軽に相談できる体制を希望します。
医療サービスの質向上 医療従事者による対応の統一と環境づくり	注射後のテープの大きさなど、看護師による処置のばらつきをなくすることで患者の不安を軽減できます。また、患者が安心して話せる穏やかで聞き取りやすい環境づくりを希望します。
衛生・施設管理 院内清掃の徹底	トイレ（特にウォッシュレットの便座裏）の清掃・衛生管理をより徹底してほしいです。
患者自身の取り組み 健康意識の向上	感染対策（手洗いやマスク着用）や、日々の体調管理、熱中症対策など、患者側も健康意識を高く持つことが重要です。
医療機関への信頼 連携による安心感	洛和会丸太町病院との連携があることで、安心して医療を受けられると感じています。

考察

- LINEによる情報提供は、手軽かつタイムリーに患者や家族が医療安全に関与する契機となり、日常的なリスク回避行動を促す手段として有用と考えられた。
- 患者は医療サービスに対して、単なる治療だけでなく、心理的な安心感や信頼性も重視していることが明らかになった。
- 患者との継続的なつながりを保ち、情報提供や相談窓口としての役割を果たすために、引き続きLINE配信も有効に活用していきたい。

医療安全への取り組みのまとめ

- LINE配信は、患者・ご家族の医療安全意識向上に有効であった。
- 今後もTQM委員会はLINEを活用し、医療安全情報を継続的に発信する。
- 具体的には、Microsoft Formsを用いて職員から医療安全標語を募集し、その内容をLINEで共有する予定である。
- これにより、病院職員と患者・ご家族の医療安全意識をつなげる。